

開催報告

Vol.11「温泉が息づくまちの地域・郷土資料館''いきてるミュージアム''を育てる」

開催日：令和5年7月2日（日）14時00分～16時00分

会場：別府市役所1Fレセプションホール

参加人数：61人（グループワーク参加34名）

ゲストスピーカー：京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 松田法子氏

1 地域・郷土資料館のコンセプト

はじめに、別府市より新図書館等複合施設として整備が計画されている「地域・郷土資料館」についての概要を説明した。新図書館を核とする複合施設のなかでの設置予定場所や、施設面積及び構成についてを解説するとともに、コンセプトと役割についてを説明した。

2 基調講演「別府が育てた研究者」

ゲストスピーカーである松田氏より「別府が育てた研究者」を演題として基調講演が行われた。研究のために訪れた別府での体験談を交え、そこで出会った人からさらに次の人へと語りと出会いの連鎖がうまれたこと、まちそのものが「アーカイブ」であるという別府のすがたについてなどをお話いただいた。また、建物、屋外空間スキャンなどの新しいアーカイブの手法についてご紹介いただいた。多種多様な資料をアーカイブすること、別府市民自身の語りの記憶をのこしていくことが、重要であることをお話いただいた。

3 グループワーク

6つのグループに分かれて、ワークを行った。まずは個人で別府について「知りたいこと、伝えたいこと」それを「伝えていくための方法や資料」、「実現する方法」について考え、付箋に書き出していき、グループ内で生まれたアイデアを共有し意見交換をした。その後、各グループが発表をすることで別府というまちの記憶を共有し、市民同士で伝えていくことの大事さを共有できた。

ワークで生まれたアイデアについては、以下のようなものがあった。（シートより抜粋）

「知りたいこと・伝えたいこと」

「温泉」・・・「発達史」、「歴史、はじまり」、「地震によって泉質は変わるのか」「温泉たまご別府は黒い？白い？」、「湯けむりの景観の美しさ」

「戦前・戦中・戦後の別府」・・・「戦前のにぎわい、別荘」、「別府公園に防空壕があった？」、「戦後の進駐軍の時代」

「芸術・芸能・音楽」・・・「ヤッチキは何で『ヤッチキ』というの？」、「別府でうまれた民謡はあるのか？」「温泉以外で自慢・紹介できるもの（アート・文化など）」

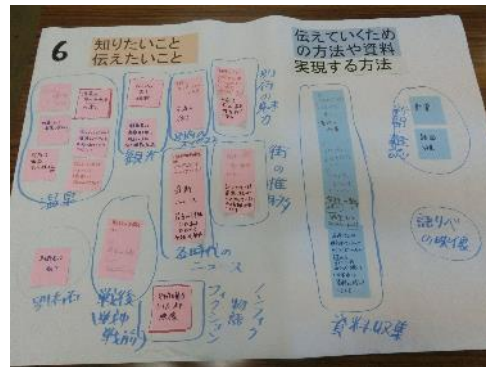
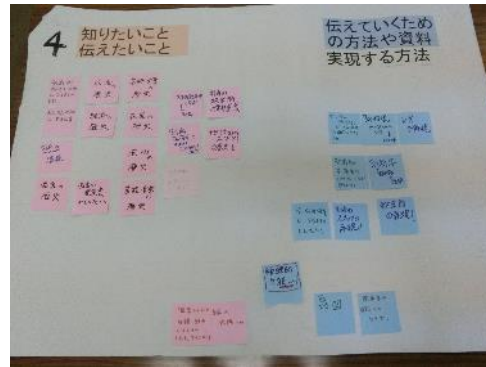
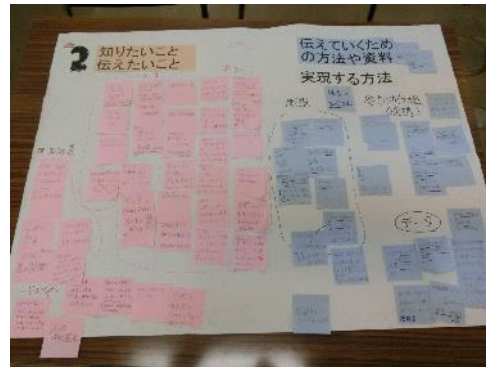
「街の推移」・・・「歴史ある建物」、「空からみた別府の移りかわり」、「別府にあったお寺や神社」

「伝えていくための方法や資料・実現する方法」・・・「意見交換・交流会」、「くわしい人を探す」、「歌や踊りなど文献になりにくいデータの収集」、「語り部」「多言語で伝える」

施設概要説明、基調講演、グループワークの様子



各グループで作成した成果物



4 まとめ

参加者それぞれが別府についての「知りたいこと」を挙げると、それを知っている参加者から新たな話が生まれ、また別の参加者から話がつながっていくというような、グループ内で、別府についての語りが生まれる様子もみられた。

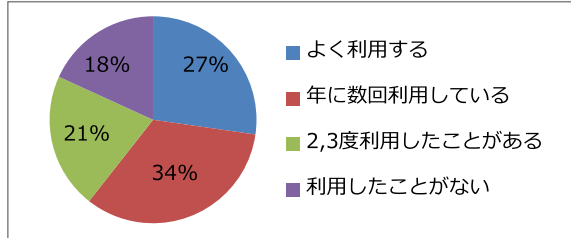
地域・郷土資料館へのイメージを具体的なものとし、別府市と市民が一体となってつくりあげていくものだという意識の共有がはかれた。

別府市新図書館等整備事業 オープンプラットフォーム会議vol.11 アンケート

参加者61名(聴講のみ含む)うち回答者33名(回答率54%) ※自由回答は原文をそのまま掲載しています。

1. 現在、別府市の図書館を利用していますか？(該当項目の1つに☑)

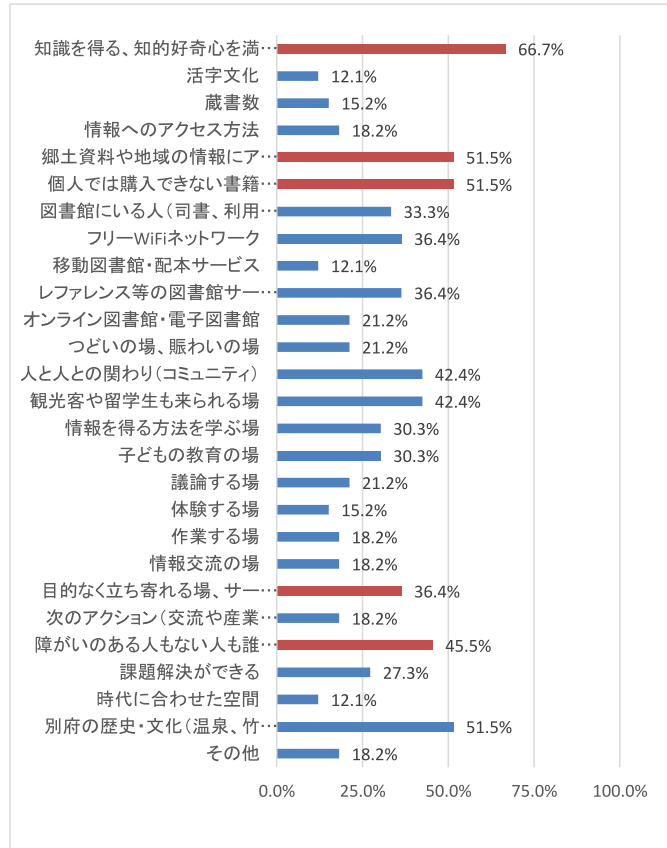
項目	回答数	%
よく利用する	9	27.3%
年に数回利用している	11	33.3%
2,3度利用したことがある	7	21.2%
利用したことがない	6	18.2%
無回答	0	0.0%
小計	33	100.0%



・「年に数回利用している」、「2,3度利用したことがある」参加者が半数程度おり、図書館の利用頻度が少ない人も参加があったことがわかった。

2. あなたが新しい時代に図書館に求めるものは何ですか。(複数回答可)

項目	回答数	%
知識を得る、知的好奇心を満たす	22	66.7%
活字文化	4	12.1%
蔵書数	5	15.2%
情報へのアクセス方法	6	18.2%
郷土資料や地域の情報にアクセスできる	17	51.5%
個人では購入できない書籍やデータベース	17	51.5%
図書館にいる人(司書、利用者)	11	33.3%
フリーWiFiネットワーク	12	36.4%
移動図書館・配本サービス	4	12.1%
レファレンス等の図書館サービス	12	36.4%
オンライン図書館・電子図書館	7	21.2%
つどいの場、賑わいの場	7	21.2%
人と人との関わり(コミュニティ)	14	42.4%
観光客や留学生も来られる場	14	42.4%
情報を得る方法を学ぶ場	10	30.3%
子どもの教育の場	10	30.3%
議論する場	7	21.2%
体験する場	5	15.2%
作業する場	6	18.2%
情報交流の場	6	18.2%
目的なく立ち寄れる場、サードプレイス	12	36.4%
次のアクション(交流や産業など)を生む場	6	18.2%
障がいのある人もない人も誰でも利用できる場	15	45.5%
課題解決ができる	9	27.3%
時代に合わせた空間	4	12.1%
別府の歴史・文化(温泉、竹細工など)がわかる	17	51.5%
その他	6	18.2%
回答者数	33	



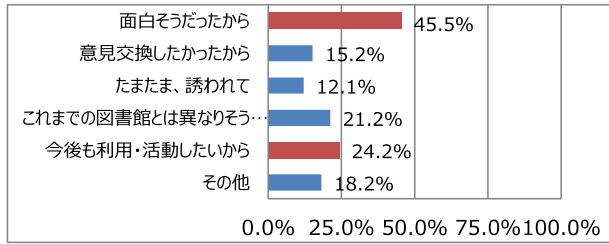
<その他>

- ・"読んで", "聴いて""話して"過去・現在・未来を見る目、知る脳、学び心"
- ・郷土資料の保存・収集に力を入れてほしい
- ・起業家が育つ環境づくり
- ・タブレットなどを持ち込んでイヤホンをしてのオンラインや動画学習をする場が欲しい
- ・書店が減少している現状をかんがみ、図書館がその役割を代理してはどうか。自書籍を販売するスペースやイベントを設けてはどうか
- ・図を核にした学びの施設、生活文化意識を向上させる市民活動の場として人が集まりやすい、興味をひく施設にしたい。図のまわりの環境整備を充実させたい。自然環境保全(温泉、地球温暖化対策を見すえた図のまわりを含めた学びの場にしたい。)

・郷土資料や個人では購入できない書籍についての収集についての機能を求めていることがわかった。

3. 今回のオープンプラットフォーム会議に参加した理由はなんですか？

項目	回答数	%
面白そうだったから	15	45.5%
意見交換したかったから	5	15.2%
たまたま、誘われて	4	12.1%
これまでの図書館とは異なりそうだったから	7	21.2%
今後も利用・活動したいから	8	24.2%
その他	6	18.2%
回答者数	33	



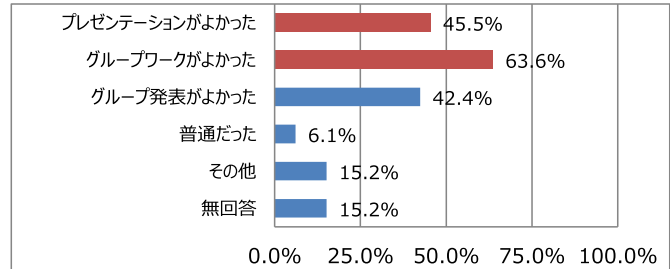
<その他>

- ・松田先生が講演するから
- ・これからの図書館が目指すものを知りたかった
- ・松田講師
- ・温泉、竹以外の歴史も資料展示して欲しかったため
- ・他の方の意見を聞きたいと思ったので
- ・松田法子さんが来るから

- ・「面白そうだったから」が最も多く、今後も利用・活動したかったからが次いで多かった。
- ・ゲストスピーカーの話を聴きたいという理由もあった。

4. 今回のオープンプラットフォーム会議はいかがでしたか？（複数回答可）

項目	回答数	%
プレゼンテーションがよかった	15	45.5%
グループワークがよかった	21	63.6%
グループ発表がよかった	14	42.4%
普通だった	2	6.1%
よくなかった	0	0.0%
その他	5	15.2%
無回答	5	15.2%
回答者数	33	



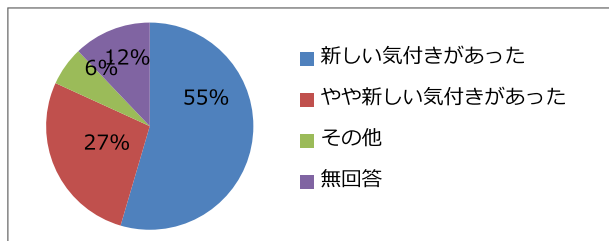
<その他>

- ・久しぶりにいるんな知り合いに会えた
- ・様々な意見があり、課題やどう解決すれば良いのかなど考えさせられる事が多かった。
- ・自分の知らないことを知っている人とたくさん話せてよかった
- ・資料館の概要を初めて知りました。もう少し早く知りたかったです。
- ・発表時間を守りましょう

- ・「グループワークがよかった」が6割程度と最も多く、次いで「プレゼンテーションがよかった」「グループ発表がよかった」についても4割以上を占めた。
- ・さらにグループで意見交換できたことに対する満足感が高かったことがうかがえる。

5. 今回のオープンプラットフォーム会議で、新しい気付きがありましたか？（該当項目の1つに☑）

項目	回答数	%
新しい気付きがあった	18	54.5%
やや新しい気付きがあった	9	27.3%
とくになかった	0	0.0%
その他	2	6.1%
無回答	4	12.1%
回答者数	33	



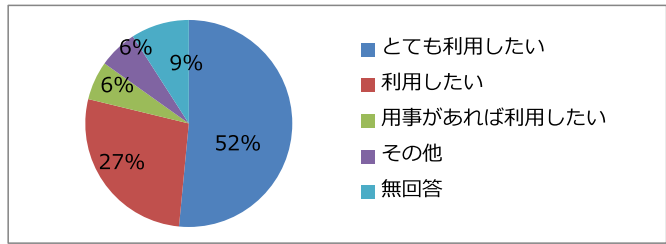
<その他>

- ・若い世代・子どもたちもしっかりとした考えや意見があったのも良かったです。
- ・移民の街として急速に発展した街という事を知る事ができた。
- ・別府に関心を有する人が多いことに感謝
- ・やっつき、別府石

- ・「気付きがあった」が7割を占めた。

6.本日参加されて、これから地域・郷土資料館を利用してみたいと思いませんか？（該当項目の1つに☑）

項目	回答数	%
とても利用したい	17	51.5%
利用したい	9	27.3%
用事があれば利用したい	2	6.1%
利用したくない	0	0.0%
その他	2	6.1%
無回答	3	9.1%
回答者数	33	



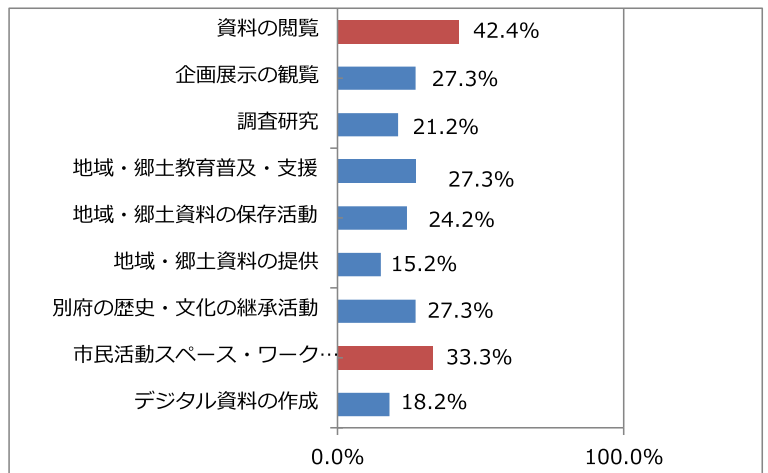
〈その他〉

- ・日本画教室としての利用ができるように。現在の別府を日本画に画きめると将来への遺産になるのでは。
- ・出来上がった資料館次第
- ・このサイズでは希望を持ちづらいです。再考を！

・「とても利用したい」が5割を超えた。

7.地域・郷土資料館と今後どのように関わりたいですか？（該当項目に☑複数回答可）

項目	回答数	%
資料の閲覧	14	42.4%
企画展示の観覧	9	27.3%
調査研究	7	21.2%
地域・郷土教育普及・支援	9	27.3%
地域・郷土資料の保存活動	8	24.2%
地域・郷土資料の提供	5	15.2%
別府の歴史・文化の継承活動	9	27.3%
市民活動スペース・ワークショップ	11	33.3%
デジタル資料の作成	6	18.2%
関わりたくない	0	0.0%
その他	8	24.2%
回答者数	33	



〈その他〉

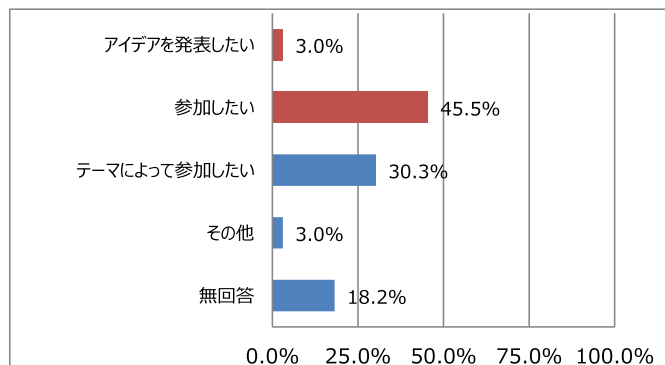
- ・資料あげます

・複数の項目に対して関わりを持ちたいと答えた人が多かった。

・これを機に、地域・郷土資料館への関心や参加意識が高まったと考えられる。

8. 今後もオープンプラットフォーム会議に参加したいですか？（該当項目の1つに☑）

項目	回答数	%
アイデアを発表したい	1	3.0%
参加したい	15	45.5%
テーマによって参加したい	10	30.3%
参加したくない	0	0.0%
その他	1	3.0%
無回答	6	18.2%
回答者数	33	



〈その他〉

- ・女性の方々がたくさん参加されていることに安心感。若い方々へも強い発信が出来れば。

・次回も参加したいという回答が多かった。

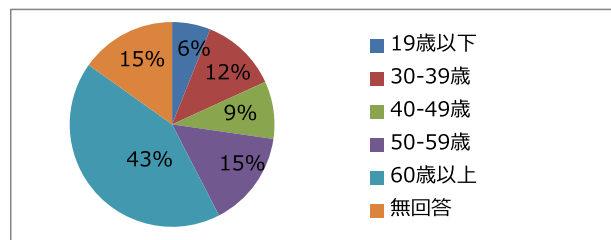
9. その他、新図書館等整備事業計画やオープンプラットフォーム会議に対するご意見等、ご自由にご記入ください

- ・別府が主願とする「温泉と観光」のバランス。中身を成長させることも必要ですが都市計画上の地域の住み易さ、来る人達への環境の良さを観せることも。
- ・デジタル化することで、さまざまな機関やいろんな人から、写真（加えて映像）などを収集することに力を入れてほしい
- ・今回の地域・郷土資料館の容積が小さすぎるのでは、…つまり現市内に私分点在している資料をすべて受け入れることができるのか？..
次へ残すためのかたりべを創造・継続していく
- ・今まで別府にはたくさんの歴史やものがたりが存在するにもかかわらず、郷土資料館がなかったでなくなった資料なども多かったと思います。これから建設される事によって、アーカイブ化、保存活用される事を願ってます。
- ・今後の内容を市のHPでアップ下さい
- ・自分たちが生きていない時代の資料はとても大切に、残すべきだという意見がもっともだと思いました。私達が今生きているこの時代も100年後の歴史になるという事を考え私達も資料を残すことが大切です
- ・今回もありがとうございました
- ・とてもたのしみです。またいっしょのグループでいたい。チームワークがよかった
- ・もっと時間が長くほしい（班内での意見交換）
- ・新図書館の建築状況や構想の具体的な状況報
- ・このオープンプラットフォーム会議での意見を新図書館にどれくらいいかしてもらえるのか…。多くの方の意見をきかせていただいて良かったです。ありがとうございました。

10. あなたの年齢・居住地を教えてください。(該当項目の1つに☑)

年齢

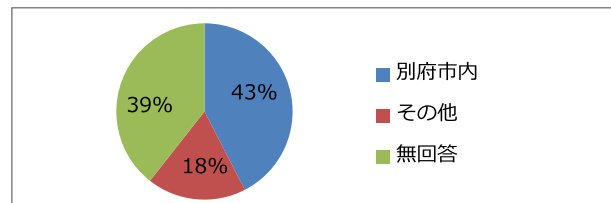
項目	回答数	%
19歳以下	2	6.1%
20-29歳	0	0.0%
30-39歳	4	12.1%
40-49歳	3	9.1%
50-59歳	5	15.2%
60歳以上	14	42.4%
無回答	5	15.2%
小計	33	100.0%



- ・60歳以上の参加が多かったが、10代の参加もあり、多様な世代からの参加があった。

住所

項目	回答数	%
別府市内	14	42.4%
その他	6	18.2%
無回答	13	39.4%
小計	33	100.0%



- ・市内からの参加者が多かった。